

PDF小説
お嬢様と強盗
体験版

◇イラスト:鮭乃蔵 不傷
◇本文:月見

製作・編集
ひなた古書堂



※※※※※

お嬢様と強盗 体験版

※※※※※

私は、マコの後ろ手に自分の顔を近づけ、猿轡を握らせた。マコが布地を握った事を確認すると私は力いっぱい顔を振った。

少しづつ布がずれ始めて……

「ぷはあっはあ、はあ、はあ……あ、ありがとうマコ」

私はそのまま、マコの手首のロープを口で解きにかかる。マコの手首は赤くなっていた。痛々しいその皮膚は、無理やりにロープを外そうとした結果だった。

「マコ……ごめんね、必ず助けるから」



「だが結び目を口で解く事には無理があつた。
はあ……うん、んっ、んっ……ぷあっ……」



体験版はここまでとなります。

ここまでお読みいただきましてありがとうございます。

